



SATSUKIKAI

2019年5月

Vol.101



特集

平成31年度

さつき会経営(事業)計画

さつき

s a t s u k i

しあわせを咲かせて生きる。

(2)業務の可視化による効率化と介護ロボット・ICT等の活用による業務の省力化

- ①労働人口減少と働き方改革（有休取得義務化、残業規制等）は、組織の成長の制約条件の一つとなる。有限の職員体制においてサービスの質の維持・向上を図るために、全ての職員が「仕事の見える化」（業務の可視化）を行い、業務の効率化と改善の基礎資料を作成する。
- ②在宅の要介護者高齢者の中重度化予防とケアの最適化を目的として、ケア情報（健康リスク、サービス提供内容、医師への相談・報告等）をクラウド上において共有し、ケアマネジャーと事業所と医師の円滑な連携を図るためのシステム開発への協力と試験的運用を行う。
- ③アクティブシニア・外国人介護福祉士など多様な人材の就労により、腰部・体力面や記録の読み書きの課題が生じるのが予測される。職員の腰痛防止、介護記録の電子化による業務省力化が期待される介護ロボット・ICT等の試用・検証を行う。

(3)利用者・家族・地域住民の健康・生きがいがづくりと良質高度なチームケア(サービス)の提供

- ①ケアの仕事の原点は、利用者の笑顔と元気が見られることである。短時間でも効果のあるアクティビティを取り入れ、利用者と職員がともに笑顔になれる時間を意図的・計画的につくり、それらをケアの仕事で得られる魅力として、若手職員が中心となりながらSNSを活用し定期的に発信する。
- ②全事業所においてトータルケアシステム（多職種協同のよる重度化対応・重症化予防の仕組み）を運用し、最適化したケアの提供と重症化予防に努め、できるだけ最期まで鷹栖町内で穏やかで笑顔のある暮らしを支援する。
- ③自立度の高い方から嚥下・摂食障害のある方まで、「より美味しく、より安全に食べること」を実現するため、介護・看護・栄養・調理員、委託業者が一体的になり食事サービスの質向上を図るとともに、適正な予算の下に給食サービス業務が行われるよう業務の効率化・省人化を図る。
- ④鷹栖町内で高齢者介護に関わる情報と知識・技術を一番持っている強みを生かし、職員が地域へ外向き介護講座やサロン（地域の茶の間）の開催や、地域の集会などへ積極的に参加することで地域との交流を図る。その活動により地域住民に「高齢期における健康・介護リスクと予防法」についての理解を深めていただくと共に、職員自身が地域を知り地域を学び安心できる地域づくりの貢献を図る。
- ⑤施設が平常時から災害時まで、安心・快適に暮らせる場となるために、施設設備や環境のプライバシー・快適性・安全性・居住性を十分配慮し、定期的なチェックとメンテナンスを遂行する。
- ⑥施設のマンパワーだけで利用者の暮らしを豊かにする、災害時の安全を守るとは困難を要するため、地域住民やボランティアを利用者のQOL向上（生活の質向上）を図るための「協力者」として、更なる意見・協力を得て共に活動する。
- ⑦築31年の老朽化が進む鷹栖さつき苑の長寿命化を図るため、給排水・暖房設備・機械室・外壁等の建物・設備の大規模改修工事の計画を平成31年度に作成し、令和2年度以降に実施する。

(4)適性利益の確保と内部統制の強化

- ①居宅・通所・訪問・小規模・短期入所の在宅サービスは、前期高齢者の需要増が見込まれる事業である。団塊世代のニーズを満たす魅力ある事業所づくりと新規利用者獲得のための町内外の地域機関・医療機関への営業・PR活動を拡充し、利用者数の増加と稼働率向上を図る。
- ②社会福祉法人は、公益性の高い法人であり法令遵守、不正防止、組織統治、業務の効率化が要求されている。「人に仕事がつくのではなく、仕事に人がつくようになる」ために、ルール（マニュアル、手順書、チェックリスト）を整備し、チーム内で仕事のシェアと定期的なジョブローテーションを行う。
- ③各事業所に部門計画・活動計画の達成と適正利益（事業活動収入の5%）を確保するために、各課長が予算管理（①計画と編成、②予算に基づく執行、③予算・実績の差異分析と評価、④改善活動への提案と実行）を実施する。
- ④全事業所において収益向上、及び収支改善を図り、法人全体の事業活動収入の5%を目標収支差額（34,716千円）に掲げ、その運営管理（マネジメント）をつかさどる月次業績検討会議の活性化を図る。
- ⑤サービス需要及び業績に見合った要員計画を検討し、職員の適正配置、事業運営の効率化等を図ることにより安定した経営基盤の構築に取り組む。

平成31年度 経営(事業)計画 (第46期)

SATSUKIKAI



第5次中期経営3か年計画 基本方針

『良いケア・良い職場・良い経営をみんなの力で創る』

平成31年度 全事業所職場目標

『仕事の目的と最適な手段を考えて、自ら進んで行動する』

社会がさつき会に求めていることは、「良い仕事」である。さつき会の仕事の目的は、「良いケア(サービス)を提供してお客様(利用者・家族・地域住民)に喜んでもらうこと」「良い職場をつくり、職員が働きやすく・働きがいを得られること」「良い経営を行い、社会から信頼・信用されること」である。

一人ひとりの職員は、常に自分が担当する仕事の目的と成果を意識するとともに、生産性・効率性の向上が図られる仕事の方法を自ら進んで考え行動し、「良いケア・良い職場・良い経営」の実現を図る。

平成31年度 事業活動のポイント

(1)多様な人材採用・中核人材育成と安心・希望を持ち長く働ける職場環境の整備

- ①アクティブシニアの就労・生涯活躍と介護の仕事のイメージチェンジを図るため、鷹栖町との連携による「介護の入門的研修」の実施及び介護以外の仕事を担当する「(仮称)生活アシスタント」制度を創設する。
- ②プロフェッショナルな介護職員の安定確保を図るため、外国人介護福祉士人材育成事業への参画を図り、令和3年4月からさつき会に入職する外国人介護福祉士の受入体制づくりに着手する。
- ③さつき会の経営理念・ビジョンを理解・共感し、さつき会をより良くするために、主体性を持って行動する中核職員を育成するために「さつき会の未来を創るネクストリーダー研修会」を実施する。
- ④利用者本位の福祉・介護サービスを担う人材を育成するための教育プログラムを階層別＜新任職員（入社時研修・フォローアップ研修）、総合職研修、専門職研修、専任職研修、リーダー研修、管理者研修、経営職研修＞に体系化し、年間計画をもとに定期的な研修を実施する。
- ⑤定期面談において部下が考える目標、上司が期待する目標を相互に確認した上で、その期の個人目標を設定し、部下・上司ともに成長の機会とする。平成31年度は、一般職2級を除く常勤全職員が実施する。
- ⑥対人援助による感情労働の職種が多い事業特性を踏まえて、メンタルヘルス研修の実施、有給休暇・リフレッシュ休暇の取得推進を通じて、安心と希望を持ち長く働ける職場環境の整備を図る。
- ⑦令和元年10月施行予定の「介護職員等特定処遇改善加算」を活用し、一定の経験と資格と技能を有し、かつ指導的役割を担う介護職員等に対して処遇改善を図ることができるよう、キャリアパスと給与制度の見直しに着手する。

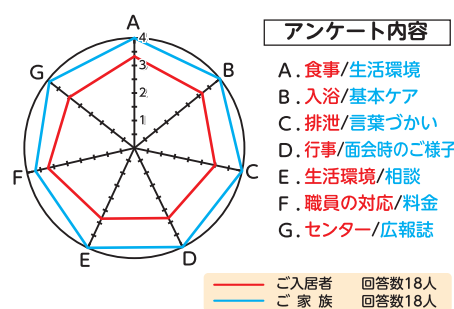
平成30年度 各施設満足度調査の結果（8施設）

※アンケート調査についての詳細はさつき会ホームページをご覧ください。

多機能型グループホーム 鷹栖なごみの家

【満足度調査集計結果の総評】

ご利用者アンケート 各項目4段階評価



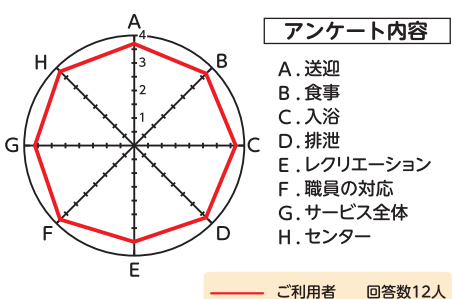
平成30年度も、ご入居者、ご家族、サービス提供側である職員に満足度アンケート調査を行いました。ご入居者のアンケートについては、今年度ご協力いただいた方は6名で、個別に聞き取りを行いました。「やや不満」「とても不満」との回答はなく、良い評価をいただきましたが、短期記憶の低下により、聞き取りしている瞬間のごとのみの回答になり、普段の状況や対応をどう思われているか等、本当の意味での満足度調査にはなっていなかったように感じました。ご家族アンケートでは、13名の方より回答いただき「満足」との回答を多くいただきました。面会時、ご入居者の笑顔や穏やかな表情を見られ、安心された等のご意見も多くいただき、大変嬉しく感じます。職員の自己評価については、昨年度は全ての項目において、やや不満と感じている職員がおりました。今年度は、それを踏まえて取り組んでまいりましたが、入浴、行事の項目について、やや不満と感じている職員がおり、全職員が満足したサービスを提供をさせていただいてはなかった結果となりました。また、行事等が縮小傾向でしたので次年度は、ご入居者と職員が共に楽しい時間を増やせるよう改善に向け取り組みたいと思います。今回も、皆様から大変貴重なご意見をいただきました。自らのサービス内容・業務態度の見直しをし、サービスの質の向上に努めていきたいと思います。最後になりますが、調査にご協力いただいた皆様に、この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。

林崎 美紀

小規模多機能ホーム 鷹栖なごみの家

【満足度調査集計結果の総評】

ご利用者アンケート 各項目4段階評価



平成31年2月にご利用者及びご家族のサービス満足度調査を実施いたしました。ご本人の協力を得られる方に関しましては、個別に聞き取りを行い、聞き取りの難しい方に関しては、ご家族のご協力を頂きました。調査実施利用登録者18名中（1月と2月の新規登録者6名は未実施）12名からの回答頂くことが出来ました。今回の調査では1つの項目を除く以外は「とても良い」「良い」との高い評価を多くいただきました。例年課題となっていた「レクリエーション」についても、今年度、新たなレクリエーションを取り入れたことで楽しいと感じて頂ける結果に繋がったと思います。今後も、皆様に楽しんで頂けるよう魅力のある充実したレクリエーションを計画して参ります。少数のご意見として「身体機能の維持・改善」に関してあまり改善していないとの回答がありました。ご利用者の体調の把握・管理を十分にを行い、自立支援・生活機能向上に向けた取り組みを強化していくことが今後の重要な課題となりました。

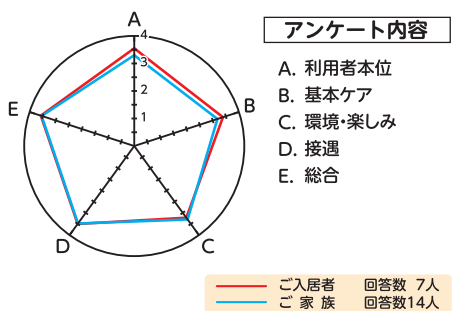
今回の結果を踏まえ、サービス向上と改善に向けた取り組みを行い、ご利用者・ご家族の皆様にとって信頼され、満足していただける小規模ホームを目指して努力して参ります。お忙しい中、調査にご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

秋保 友美

地域密着型特別養護老人ホーム めくもりの家えん

【満足度調査集計結果の総評】

ご利用者アンケート 各項目4段階評価



本年度の満足度調査につきましては、ご入居者様7名ご家族様14名についてご回答いただいております。昨年度よりも全ての調査においてご利用者、ご家族の満足度は高くなっており、ご入居者は86%の満足度、ご家族は96%の満足度という結果となっております。ご利用者ご家族共に接遇における満足度が昨年より高くなっており、職員との関係ができていいるものと思っております。しかし、食事サービスにおいて味付け、調理方法について満足ができていない、今後改善を図っていききたいと思っております。また、基本ケアにおいても70%台と他の項目より低いため、基本ケアの研修やOJTにおいて向上を図って行きます。

職員におきましては全員が回答しております。こちら満足度は昨年より高くなっておりますが、全項目において不満も10～20%あり、更にケアの質を向上させたいと考えていることが伺えます。この結果を踏まえ、改善を図り今後も皆様が安心して満足していただけるサービスの提供につとめていきます。

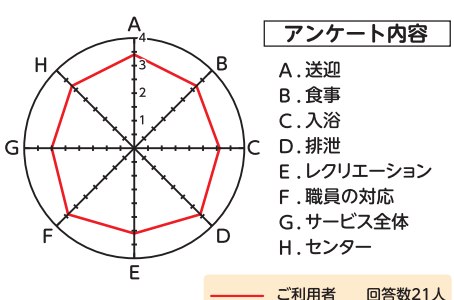
調査へのご協力、誠にありがとうございました。

谷本 政美

小規模多機能ホーム めくもりの家えん

【満足度調査集計結果の総評】

ご利用者アンケート 各項目4段階評価



小規模多機能ホームでは、改善すべきサービス内容や課題を明らかにし、サービスの質の向上を図ることを目的とし、利用者様とサービス提供者側である職員を対象に満足度調査を実施しました。

回答の中で、「送迎」や「食事」については90%以上の高評価を頂きました。また、前回評価の低かった「レクリエーション」の評価はサービス項目3.1となり、全てのサービス項目平均が3以上の結果となりました。

しかし、「レクリエーション」、「サービス全体」の評価が全体の項目より低いこと、「職員の対応」が前回より低くなっていることは、私達スタッフが個々や全体で重く受け止めなくてはならないと思います。

これからも皆さまが、自然と「行きたい!」、「行って良かった!」と思える場であるように、今回の満足度調査を踏まえて、改善・努力していきます。

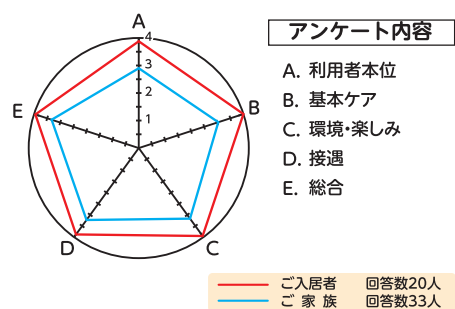
お忙しい中、調査のご協力、ありがとうございました。

松本 由美

特別養護老人ホーム 鷹栖さつき苑

【満足度調査集計結果の総評】

ご利用者アンケート 各項目4段階評価



今回の満足度調査では20名のご入居者と33名のご家族にご協力をいただきました。まずご入居者では、いずれの項目においても「満足」が8～9割以上を占め、ご家族による満足度調査についても、7～8割が「満足・おおむね満足」の回答をいただきました。一方で各項目では数名が「やや不満」との回答がありました。今回の調査では、ご入居者とご家族共通して、特に接遇について改善及び質の向上の必要性が明らかとなりました。社内研修を通じ接遇・マナーの向上を図り、ご入居者ご家族共に安心してサービスをご利用いただけるよう質の向上を図っていきます。

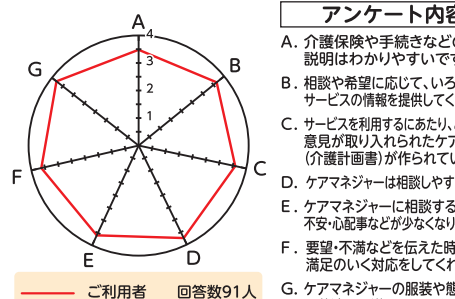
その他、さつき苑に暮らすご入居者とご家族の満足度に併せて、サービス提供側である職員に自己満足度調査を行い、設問内容をほぼ同一にすることで、客観的な評価と提供する側の意識調査も兼ねて行う事ができました。結果は、「基本ケア」「接遇」については、半数以上が「普通」という回答であり、「基本ケア」に関しては、6名が「やや不満」と回答しています。職員に関して今後基本ケアの見直し・改善を行い、ご入居者に「満足」していただけるよう、職員はサービス提供者として全員が「満足」出来るようケアの向上を図っていきます。

設楽 剛寛

介護センター さつき苑

【満足度調査集計結果の総評】

ご利用者アンケート 各項目4段階評価



全体を通して満足・普通との声を多くいただきましたが、やや不満、不満の大変貴重なご意見をいただいております。

公的な制度は年々複雑化している為、居宅介護支援事業所でも最新の情報を把握し、引き続き制度・ケアプラン・手続き等についてご利用者・ご家族により分かりやすくお伝えできるように工夫していききたいと考えております。

ケアプラン作成時にしっかり意見を聞き取ることや、相談事への対応方法、知識と技術の研鑽に努めていききたいと思ひます。次年度に向けて改善が図れるように、より一層の努力をしていききたいと思ひます。

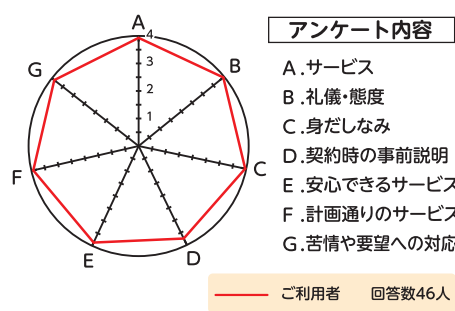
調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

佐藤 恭子

鷹栖町ヘルパーステーション さつき苑

【満足度調査集計結果の総評】

ご利用者アンケート 各項目4段階評価



平成30年度の満足度調査では「礼儀・態度」「身だしなみ」「計画通りのサービスの提供」の3項目で高い評価をいただいています。

計画通りのサービスの提供について、介護計画・訪問内容が変更された時はその都度共有・徹底し、統一したサービスの提供に努めます。

また、訪問時間が予定から遅れないよう移動時間を十分考慮し、お待たせすることなくサービスが提供できるよう、訪問表の見直しに取り組みます。

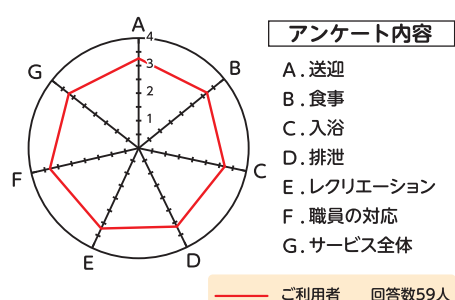
満足度調査にご協力いただきありがとうございました。

伊藤 尚子

鷹栖町デイサービスセンター はぴねす

【満足度調査集計結果の総評】

ご利用者アンケート 各項目4段階評価



今回の調査では、「送迎」「職員の対応」に満足度が高い評価をいただき、今後ご利用者のニーズを把握し、サービスの見直しや充実したサービスが提供出来るよう努めていききたいと思ひます。

また、課題としては「体操により身体機能の向上に繋がっている」「入浴はゆっくり入れる」「レクリエーションは楽しめている」が低い結果となりました。

身体機能に著しい低下は見受けられていないものの衰えを感じていると思われ、楽しみながら身体を動かすレクや外出行事により、楽しみや活動性を高めたり、社会参加の継続を図ることで在宅生活への自信に繋げていけるよう、充実した内容を検討し取り組めるよう努めていききたいと思ひます。

「入浴はゆっくり入れる」に関して、ゆっくりと入浴できる環境作りや会話、長湯を好まれる方に対しての体調を考慮した声かけを意識し、気持ち良く入浴していただけるよう配慮していききたいと思ひます。

今回の満足度調査で、たくさんの方の貴重なご意見を寄せていただき、日頃のサービス内容を振り返る機会をいただいたことに、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

中山 里恵



第8回さつき会サービス向上発表会

今年も3月に開催され、5事業所8名が発表を行いました。

どの発表も日頃の努力と工夫がよく伝わる内容で、聞いている職員にとっても学びに繋がるとても充実した発表会となりました。今回最優秀賞には、デイサービスセンターはびねすが発表した「鷹栖町フレイルゼロプロジェクト～現在、未来を見据えた取り組み～」が選ばれました。

室橋 綾乃



この度は最優秀賞という素晴らしい賞をいただき、大変光栄に存じます。

鷹栖町の介護予防を語る上で欠かせないのが、コレカラサポーターやあったかすりハビリ体操指導士といった住民ボランティアの方々です。今回の受賞は、地域住民のために日々熱心に活動していただいている皆様のおかげだと思っております。この場を借りてお礼申し上げます。今後も多くの方に「フレイル」を知ってもらい、鷹栖町フレイルゼロ実現に向けて邁進していきます。

デイサービスセンターはびねす 理学療法士 大河原 和也

さつき会の未来を創る ネクストリーダー研修会

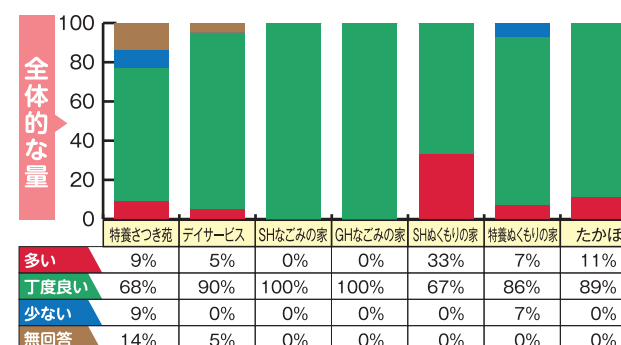
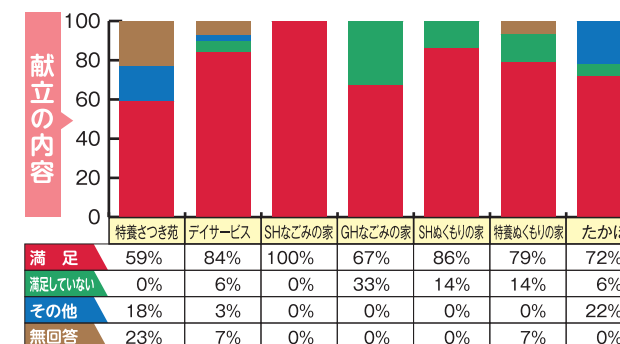
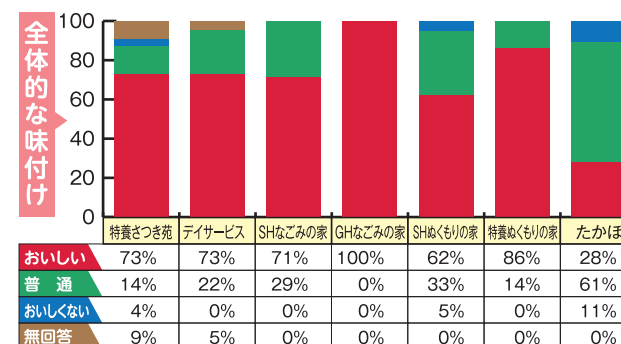
去る3月10日、さつき会も高齢者福祉に携わり30年を迎え、今後も安定的に「良いケア」を提供しつつ、人も組織も成長・発展していくために次世代を担うリーダー的存在となる職員の育成を行うこととしました。

地域包括ケア時代における介護福祉士・社会福祉士・介護支援専門員等は、法人・地域の中における「中核的人材」「ケアチームのリーダー」という役割が求められます。そこで、本研修では今後のさつき会を担う「ネクストリーダー」を対象に、ケア(仕事)を通じて主体的に自身の成長とスキルアップを図るための考え方・知識・技術を習得することを目的に全国高齢者ケア研究会研究委員長の泉田照雄氏を講師に招き研修会を実施しました。自主的に参加した12名の介護職員、ケアマネジャーが、前向きに真剣に研修に取り組んでいます。

谷本 政美



平成30年度 さつき会食事サービス満足度調査結果報告



各施設アンケート回答者数

特別養護老人ホーム鷹栖さつき苑	入居者数50名	うち回答者	計22名
デイサービスはびねす	利用者数82名	うち回答者	計81名
SH鷹栖なごみの家	利用者数18名	うち回答者	計7名
GH鷹栖なごみの家	入居者数18名	うち回答者	計6名
SHぬくもりの家えん	利用者数25名	うち回答者	計21名
特養ぬくもりの家えん	入居者数20名	うち回答者	計14名
ぬくもりの家たかほ	入居者数18名	うち回答者	計18名

(SH=小規模多機能ホーム・GH=グループホーム)

食事サービス満足度調査を終えて

今年の1月から3月にかけてご入居者・ご利用者を対象に食事サービス満足度調査を実施し、皆様から直接ご意見・ご要望をいただきました。

これらの貴重なご意見・ご要望は、多職種と協力して改善に努めていきます。

特養さつき苑は平成30年12月より給食委託業者が変わり、食材や献立に大きな変更がありました。昨年度に比べ「おいしい」との声に減少が見られました。「前より美味くなった」との意見もありますが減少した原因をつきとめ、ご入居者皆様に美味しいと感じていただける食事を安定して提供できるよう改善していきます。

デイサービスは昨年度に比べ「おいしい」との声が多く、量についても平成30年12月より一品増やしたことで「ちょうどよい」の声も多く、改善が見られました。

なごみの家は、昨年度「食事の温度がぬるい」の声が多く聞かれました。本年度は盛り付け時間を見直したことで改善することができました。今後もあたたかく食べやすい食事を提供していきます。

ぬくもりの家えんは、昨年度「食事の味付けがうすい」「食事がぬるい」の声がありましたが、本年度は「ちょうどよい」の声が多く、改善がみられました。今年度は味付けのバラツキを改善し、安定した食事の提供に努めていきます。

ぬくもりの家たかほは、今年度「味がうすい」「肉が固い」との声が多く聞かれました。今後は、味付けの見直しや、肉類に柔らかくするための酵素を使用し改善いたします。また、食事を楽しみにしていただけるよう盛り付け献立の工夫も検討し、満足していただけるような食事作りに努めていきます。

今後も、ご入居者・ご利用者の要望や意見をお聞きしながら、できるだけ日々の献立や行事食に取り入れて行きたいと思っています。

さつき会の食事を通して、心から元気に、そして楽しい時間を過ごしていただけるよう、一層努力して参ります。

ご協力いただいた皆様には、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

管理栄養士 大和田 さゆり・己上 純子



さつき苑
本谷 憲子 様

さつき苑
細谷 京子 様

さつき苑
田村 キクノ 様

さつき苑
山本 フミ子 様

さつき苑
山本 守次 様



● 除雪ボランティア様

● 音楽レクボランティア様

● 学習療法サポーター様

● 洗面台清掃ボランティア様

● シーツ交換ボランティア様

《ぬくもりの家えん》

● あったかすりハビリ体操指導士様

● 英国式リフレクソロジイ凛様

● アロマリラクセッション PureHeart 様

● 学習療法サポーター様

● 鷹栖町老人会カラオケクラブ様

《デイサービスセンター》

● フレッシュ親睦会様

● 21区老人会様

● ひまわり会様

《鷹栖さつき苑》

Thank you so much.

**ボランティアに
来られた方々に**

平成31年1月21日～平成31年3月20日

◆ 寄付寄贈 ◆

平成31年1月21日
～平成31年3月20日

《鷹栖さつき苑》
● タオル 鷹栖町婦人ボランティア様

● 紙おむつ 谷口 美代子様

《ぬくもりの家えん》
● 雑巾 鷹栖町婦人ボランティア様

● 《デイサービス》
● 雑巾・タオル 鷹栖町婦人ボランティア様

● タオル 保科 厚生様

編集後記

心地良い暖かな風が吹き、北海道にもようやく春が訪れました。さつき会も新任職員を迎え、春のような明るさです。

新任職員の皆様も、期待と希望で胸を膨らませているのではないでしょう。今月から新元号「令和」のはじまりです。良い一年になりますよう、力を合わせて頑張りましょう。

季節の変わり目、体調を崩しがちになります。が、体調管理に気を配りながら、新年度も笑顔で過ごしていきたいと思っております。

今年度も、よろしく願っています。

角合 美紀



第1回地域福祉優秀実践賞を受賞

この度、社会福祉法人さつき会が北海道地域福祉学会から「第1回地域福祉優秀実践賞」を受賞いたしました。受賞理由は、法人の理念と実践が新たな地域福祉を担う社会福祉法人の柱となる、①地域住民の参加、②介護人材養成、③介護職員の定着とキャリアパス、④在宅と施設をつなぎ、介護予防から看取りに至るシームレスケアの推進、によるものです。



北海道地域福祉学会会長
梶 晴美氏(写真右)から記念の盾が贈呈

この表彰を受けられたのは、日々、さつき会の目指すケアの実現に共に汗をかいている職員たち、協同連携をしてくれる住民・行政・社協のみなさん、30年来にわたり鷹栖町により良い結果が生まれるようご指導、ご教授いただいている諸先生のおかげであると、身にしみて感じております。今後も、法人のビジョンである

「自分が入りたいと思える施設をつくる」
「自分が住み続けたいと思える地域をつくる」
「自分と仲間がやりがいとはたらきがいのある職場をつくる」

ことの実現に向かって職員一丸となってベストを尽くしていく所存です。

施設長 波瀾 幸敏

ヘルスリテラシー講座

フィットネス倶楽部コレカラでは「ヘルスリテラシー講座」を行っています。「ヘルスリテラシー」とは、世の中に溢れている様々な健康に関する情報を、自分のフィルターを通して取捨選択し活用することを指し、この講座はその「能力」を養うことを目的としています。

講座の内容は、「認知症」「水分」「低栄養」「便秘」「社会参加」「フレイル」と多岐にわたり、人生100年時代を生き抜くために必要なピースを介護士、看護師、ケアマネジャー、栄養士、理学療法士が各専門分野における最新のエビデンスに基づく情報と、現場で培った経験を基に「わかりやすく!楽しく!手短かに!」講座を繰り広げ、参加者の皆さんは真剣に学ばれております。



理学療法士 大矢 敏之

新任 職員紹介

よろしくお願いします!

鷹栖 なごみの家



ケアスタッフ
古井 亜寿香



看護師
細川 優子



看護師
野村 広美



看護師
三國谷 佐千恵

鷹栖 さつき苑



ケアスタッフ
山内 遥



ケアスタッフ
星 美南



ケアスタッフ
野原 麻由

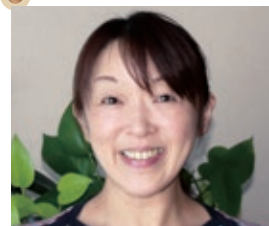
ぬくもりの家 えん



ケアスタッフ
四ツ家 美歩



ケアスタッフ
平間 七海



調理員
渡部 圭子

特別養護老人ホーム・デイサービスセンター
居宅介護支援事業

鷹栖さつき苑

〒071-1201 鷹栖町南1条3丁目2番7号
TEL (0166) 87-3321

地域密着型特別養護老人ホーム・小規模多機能ホーム
地域交流スペースふれあい茶ろく てくてく

ぬくもりの家えん

〒071-1249 鷹栖町9線4号5番地
TEL (0166) 87-5824

多機能型グループホーム・小規模多機能ホーム

鷹栖なごみの家

〒071-1201 鷹栖町南1条1丁目1番20号
TEL (0166) 59-3321

サービス付き高齢者向け住宅・フィットネス倶楽部 コレカラ
地域交流スペース あえる

ぬくもりの家たかほ

鷹栖町ヘルパーステーションさつき苑
〒071-1223 鷹栖町北野東3条1丁目7番1号
TEL (0166) 76-5037

◆ ホームページ ◆

さつき会

検索



<http://www.satsuki-kai.jp>

◆ ブログも更新 ◆

さつき会ブログ

検索



http://blog.livedoor.jp/satsuki_kai/